



平成19年7月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年5月28日

会社名 ゼネラルパッカー株式会社 (JASDAQ コード番号: 6267)
 (URL <http://www.general-packer.co.jp>)
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 梅森 輝信
 問い合わせ先 責任者役職名 専務取締役管理部長
 氏名 池澤 晃 (Tel: (0568) 23-3111(代表))

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- ・たな卸資産の計上は、当中間会計期間末の実地棚卸高を基準に算出した帳簿たな卸高によっております。
 - ・固定資産の減価償却費は、年度見込額のうち期間対応分を計上しております。
 - ・その他影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法によっております。
- ②最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成19年7月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年8月1日～平成19年4月30日）

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年7月期第3四半期	2,953	(△9.1)	113	(△44.7)	116	(△45.0)	71	(△43.2)
18年7月期第3四半期	3,248	(58.0)	205	(—)	212	(—)	125	(—)
(参考)18年7月期	4,394		278		285		154	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年7月期第3四半期	7	92	—	—
18年7月期第3四半期	27	89	—	—
(参考)18年7月期	34	29	—	—

- (注) 1. 売上高、営業利益等は、当該四半期までの累計値であります。
2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前年第3四半期に対する増減率であります。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。
4. 当社は、平成19年2月1日付をもって普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、平成19年7月期第3四半期における1株当たり四半期純利益は、期首に株式分割が行われたものとして算出しております。
5. 当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合における1株当たり四半期(当期)純利益はそれぞれ以下のとおりであります。
- | | |
|-------------|--------|
| 18年7月期第3四半期 | 13円94銭 |
| 18年7月期 | 17円15銭 |
6. 当四半期数値は監査法人による監査を受けておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当社の各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的に変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響するため、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。当期につきましては、各四半期の売上高の増減の影響により、第1四半期(平成18年8月から10月まで)と第4四半期(平成19年5月から7月まで)に経常利益が偏る傾向となっております。

当第3四半期における業績は、積極的な新機種開発と営業活動の推進により、販売台数及び海外売上高の増加が図れたものの、前期に比べて大型案件の金額及び件数が減少したこと等から、売上高・受注高ともに、前年同四半期及び計画を下回る状況で推移しました。

売上高につきましては、高額の新機種の売上貢献があったものの、前年同四半期に売上計上があった大型システムの実績(約550百万円)をカバーするまでには至らなかったことから、前年同四半期を下回る結果となりました。また、損益面につきましては、前年同四半期に比べ展示会費用の減少等により販売費及び一般管理費が減少したものの、高機能・高価格の新機種及び新規開拓案件等で低粗利益実績が複数発生したことにより、売上高総利益率が低下したことから、経常利益は減益となりました。

以上の結果、当第3四半期の売上高は2,953百万円、経常利益は116百万円、四半期純利益は71百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年7月期第3四半期	4,597	2,735	59.5	304	29
18年7月期第3四半期	4,720	2,703	57.3	601	31
(参考)18年7月期	4,824	2,728	56.6	607	00

(注)1. 当社は、平成19年2月1日付をもって普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、平成19年7月期第3四半期における1株当たり純資産額は、期首に株式分割が行われたものとして算出しております。

2. 当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合における1株当たり純資産額はそれぞれ以下のとおりであります。

18年7月期第3四半期 300円66銭
18年7月期 303円50銭

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年7月期第3四半期	△126	△39	△57	1,347
18年7月期第3四半期	△342	△224	△53	917
(参考)18年7月期	371	△284	△54	1,571

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における当社の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、売上債権の減少や有形固定資産の取得による支出及び定期預金の預入による支出の減少等により前第3四半期末に比べ430百万円増加し、当第3四半期末には1,347百万円(前年同期比46.9%増)となりました。

また当第3四半期における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は 126 百万円となり、前第 3 四半期の資金使用 342 百万円に比べ 216 百万円資金使用が減少いたしました。この主たる要因は、仕入債務の減少額が前第 3 四半期の 137 百万円から、当第 3 四半期においては 412 百万円と大幅に減少したものの、売上債権が前第 3 四半期の 163 百万円の増加に対して、当第 3 四半期は 305 百万円の減少であったこと、たな卸資産の増加額が前第 3 四半期は 188 百万円であったことに対し、当第 3 四半期は 8 百万円の増加に止まったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 39 百万円となり、前第 3 四半期の資金使用 224 百万円に比べ 184 百万円資金使用が減少いたしました。この主たる要因は、前第 3 四半期において有形固定資産の取得による支出が 142 百万円であったことに対し、当第 3 四半期は 12 百万円であったことや、定期預金への預入による支出が前第 3 四半期の 100 百万円に対し、当第 3 四半期は 27 百万円に止まったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は 57 百万円となり、前第 3 四半期の資金使用 53 百万円に比べ 3 百万円資金使用が増加いたしました。この主たる要因は、前第 3 四半期の配当金の支払額が 53 百万円であったことに対し、当第 3 四半期における配当金の支払額は 56 百万円であったこと等によるものであります。

3. 平成 19 年 7 月期の業績予想(平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 7 月 31 日)

(通期)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前 回 発 表 予 想 (A)	4,600	400	235
今 回 修 正 予 想 (B)	4,150	230	125
増 減 額 (B-A)	△450	△170	△110
増 減 率 (%)	△9.8	△42.5	△46.8
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 18 年 7 月 期)	4,394	285	154

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 13 円 91 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

包装機械業界におきましては、全体として設備投資需要は依然として低調のまま推移しております。このような環境のなかで、当社は新機種開発の強化、高機能・高価格機種の受注活動の強化、海外売上増加等に取り組んでおります。

通期の売上高につきましては、中間期で前年同期比 462 百万円の増加が図れたことに加え、下半期売上高に貢献可能な受注予定案件も見込まれたことから、前期比 206 百万円の増加を計画しておりました。

しかしながら、予想以上に需要が低調に推移するとともに、新機種を中心に高機能・高価格機種の受注も伸び悩んだことにより、当期に売上可能な案件の受注が第 3 四半期で計画を大幅に下回る結果となったこと等から、通期の売上高は前回発表予想を下回る見通しとなり

ました。このため、通期の売上高予想を4,150百万円に修正いたします。

また、利益面に関しましては、引き続きコストダウンと販売費及び一般管理費の抑制等に努めるものの、第3四半期で売上総利益率が計画値を大きく下回ったことに加え、通期売上高の減少に伴い、売上高総利益が減少することから、通期の経常利益は前回発表予想を下回る見通しとなりました。このため、通期の経常利益予想を230百万円、当期純利益予想を125百万円に修正いたします。

なお、平成19年7月期の期末配当につきましては、平成19年3月5日付当社「平成19年7月期中間決算短信（非連結）」にて発表しましたとおり、期末配当金を1株当たり3円50銭にて行う予定であります。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

〔添付資料〕

1. 第3四半期貸借対照表

区分	前第3四半期末 (平成18年4月30日)		当第3四半期末 (平成19年4月30日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成18年7月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1 現金及び預金	917,518		1,347,953		1,571,167	
2 受取手形及び売掛金	1,721,466		897,959		1,203,943	
3 たな卸資産	978,116		992,413		983,553	
4 未収入金	155,425		106,540		96,765	
5 その他	50,288		55,861		28,213	
貸倒引当金	—		△21		△25	
流動資産合計	3,822,815	81.0	3,400,708	74.0	3,883,617	80.5
II 固定資産						
1 有形固定資産	625,591		864,553		619,136	
2 無形固定資産	2,193		2,187		2,120	
3 投資その他の資産	269,751		329,785		319,503	
固定資産合計	897,536	19.0	1,196,526	26.0	940,761	19.5
資産合計	4,720,351	100.0	4,597,235	100.0	4,824,379	100.0

区分	前第3四半期末 (平成18年4月30日)		当第3四半期末 (平成19年4月30日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成18年7月31日)		
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
(負債の部)							
I 流動負債							
1 支払手形及び買掛金	1,400,274		1,035,941		1,448,028		
2 賞与引当金	90,854		90,626		30,331		
3 その他	278,811		515,520		370,092		
流動負債合計		1,769,941	37.5		1,642,088	35.7	
II 固定負債							
1 退職給付引当金	22,713		12,028		20,037		
2 役員退職慰労引当金	224,547		207,750		227,190		
固定負債合計		247,261	5.2		219,778	4.8	
負債合計		2,017,202	42.7		1,861,867	40.5	
(資本の部)							
I 資本金		251,577	5.3		—	—	
II 資本剰余金		282,269	6.0		—	—	
III 利益剰余金		2,140,939	45.4		—	—	
IV その他有価証券評価差額金		29,315	0.6		—	—	
V 自己株式		△951	△0.0		—	—	
資本合計		2,703,148	57.3		—	—	
負債資本合計		4,720,351	100.0		—	—	
(純資産の部)							
I 株主資本							
1 資本金				251,577	5.5	251,577	5.2
2 資本剰余金				282,269	6.1	282,269	5.8
3 利益剰余金				2,182,525	47.5	2,169,734	45.0
4 自己株式				△1,423	△0.0	△951	△0.0
株主資本合計				2,714,947	59.1	2,702,628	56.0
II 評価・換算差額等							
その他有価証券評価差額金				20,420	0.4	26,070	0.6
評価・換算差額等合計				20,420	0.4	26,070	0.6
純資産合計				2,735,368	59.5	2,728,699	56.6
負債純資産合計				4,597,235	100.0	4,824,379	100.0

2. 第3四半期損益計算書

区分	前第3四半期 (自 平成17年8月1日 至 平成18年4月30日)		当第3四半期 (自 平成18年8月1日 至 平成19年4月30日)		前事業年度の 要約損益計算書 (自 平成17年8月1日 至 平成18年7月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	3,248,761	100.0	2,953,553	100.0	4,394,974	100.0
II 売上原価	2,357,245	72.6	2,184,166	74.0	3,177,414	72.3
売上総利益	891,515	27.4	769,386	26.0	1,217,560	27.7
III 販売費及び一般管理費	685,820	21.1	655,690	22.2	939,180	21.4
営業利益	205,694	6.3	113,696	3.8	278,379	6.3
IV 営業外収益	8,136	0.3	6,766	0.2	9,096	0.2
V 営業外費用	931	0.0	3,467	0.1	1,518	0.0
経常利益	212,899	6.6	116,995	3.9	285,956	6.5
VI 特別利益	—	—	4	0.0	—	—
VII 特別損失	10,537	0.3	380	0.0	17,896	0.4
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	202,361	6.3	116,620	3.9	268,060	6.1
税金費用	76,999	2.4	45,394	1.5	113,902	2.6
四半期(当期) 純利益	125,362	3.9	71,225	2.4	154,157	3.5

3. 第3四半期株主資本等変動計算書

当第3四半期(自平成18年8月1日至平成19年4月30日)

項 目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	
				別途積立金	繰越利益剰余金
平成18年7月31日残高(千円)	251,577	282,269	11,000	1,850,000	308,734
当四半期中の変動額					
剰余金の配当					△58,434
四半期純利益					71,225
自己株式の取得					
別途積立金の積立				100,000	△100,000
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計(千円)	—	—	—	100,000	△87,208
平成19年4月30日残高(千円)	251,577	282,269	11,000	1,950,000	221,525

項 目	株主資本		評価・換算差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成18年7月31日残高(千円)	△951	2,702,628	26,070	2,728,699
当四半期中の変動額				
剰余金の配当		△58,434		△58,434
四半期純利益		71,225		71,225
自己株式の取得	△472	△472		△472
別途積立金の積立		—		—
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)			△5,650	△5,650
当四半期中の変動額合計(千円)	△472	12,319	△5,650	6,668
平成19年4月30日残高(千円)	△1,423	2,714,947	20,420	2,735,368

4. 第3四半期キャッシュ・フロー計算書

区分	前第3四半期	当第3四半期	前事業年度の要約
	(自 平成17年8月1日 至 平成18年4月30日)	(自 平成18年8月1日 至 平成19年4月30日)	キャッシュ・フロー計算書 (自 平成17年8月1日 至 平成18年7月31日)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	202,361	116,620	268,060
2 減価償却費	19,715	17,836	26,586
3 役員賞与引当金の増加額(減少額△)	—	△31,000	31,000
4 役員退職慰労引当金の減少額	△41,062	△19,439	△38,420
5 売上債権の減少額(増加額△)	△163,309	305,983	354,104
6 たな卸資産の増加額	△188,001	△8,860	△193,438
7 未収入金の減少額(増加額△)	35,794	△6,890	94,454
8 仕入債務の減少額	△137,623	△412,086	△13,094
9 前受金の増加額(減少額△)	△140,745	4,205	△120,305
10 役員賞与の支払額	△30,000	—	△30,000
11 その他	132,988	31,121	22,589
小計	△309,882	△2,510	401,536
12 法人税等の支払額	△42,874	△124,830	△40,621
13 法人税等の還付額	10,562	—	10,562
14 その他	△419	1,162	△391
営業活動によるキャッシュ・フロー	△342,614	△126,178	371,085
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 定期預金の預入による支出	△100,000	△27,000	△153,000
2 有形固定資産の取得による支出	△142,919	△12,107	△149,234
3 無形固定資産の取得による支出	—	△300	—
4 その他	18,194	△531	18,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,724	△39,938	△284,040
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 自己株式の取得による支出	△296	△472	△296
2 配当金の支払額	△53,268	△56,625	△54,004
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,564	△57,097	△54,300
IV 現金及び現金同等物の増加額(減少額△)	△620,904	△223,213	32,745
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,538,422	1,571,167	1,538,422
VI 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	917,518	1,347,953	1,571,167